



七夕のかざりつけ



和歌(百人一首)に親しむ



いけ花・茶の湯

津田左右吉博士顕彰会では、会員をはじめとする地域の方々や団体と連携しながら、平成二十一年度の活動を進めることができました。

二・四土曜日の講座（囲碁）として、共に一年を通じて、多くの方に津田博士の



これらの活動は、津田左右吉博士の遺徳と業績の顕彰に向けて、車の両輪のように大切な

ものと思われます。さらなるご理解、ご支援をお願いいたします。

平成二十一年度の活動から



No.26

平成22年(2010)3月31日

編集・発行

津田左右吉博士顕彰会

美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1

TEL 0574-28-1110

会となりました。また今後は、「百人一首に親しむ会」（代表 諸橋彩子さん）も活動を予定しています。

下米田小学校では「しもよねフェスタ」として津田博士に関する講話を聞く会が催されました。子どもたちや地域の方々が博士と出会い、学びを深める場とするための協働した事業といえます。

これらの活動は、津田左右吉博士の遺徳と業績の顕彰に向けて、車の両輪のように大切な

ものと思われます。さらなるご理解、ご支援をお願いいたします。

津田左右吉博士は「子供たちのために」と言つて、自分の著書などを下米田小学校に贈りつづけていました。これが下米田小学校に残る「津田文庫」です。博士の没後は、津ね夫人が同校へ多額の寄付金を贈られました。その厚志により博士の文鎮を作成し、卒業生に「津田賞」として贈つていただきました。現在は、この事業を顕彰会が引き継いでいます。

また、「あなたの夢」・「津田左右吉博士」をテーマに作文募集を毎年行っており、授賞式・記念講演会が



自分を信じる力が行われ、自身の子ども時代と現在、これから

の夢などを語つていただきまし

第一十五回 津田左右吉賞について

～平成二十一年十一月十四日～

津田左右吉博士は「子供たちのために」と言つて、自分の著書などを下米田小学校に贈りつづけていました。これが下米田小学校に残る「津田文庫」です。博士の没後は、津ね夫人が同校へ多額の寄付金を贈られました。その厚志により博士の文鎮を作成し、卒業生に「津田賞」として贈つていただきました。現在は、この事業を顕彰会が引き継いでいます。

また、「あなたの夢」・「津田左右吉博士」をテーマに作文募集を毎年行っており、授賞式・記念講演会が

津田左右吉博士記念館（美濃加茂市下米田町）で開催されました。今回の作文応募数は三三五点、参加学校数は岐阜県内の小中学校から三十二校となりました。

授賞式終了後には、第十三・十四回同賞を受賞した渡邊晴子さん（岐阜放送局アナウンサー）による記念講演会「勇気

第25回津田左右吉賞受賞者一覧

—— (小学校5・6年生の部) ——

最優秀賞

白川町立佐見小5年 高木健人
『夢は二代目板金屋』

優秀賞

美濃加茂市立太田小5年 宮西志帆
『私の夢』
美濃加茂市立下米田小6年 大谷遙佳
『お年寄りの笑顔が見たい』

佳作

美濃加茂市立蜂屋小5年 堀部秀将
『僕の夢』
美濃加茂市立伊深小5年 堀畠菜南
『みんなに楽しさを伝える先生に』
美濃加茂市立三和小5年 市原三奈未
『わたしの夢』
美濃加茂市立下米田小6年 永田まどか
『あこがれの歴史学者 津田左右吉博士』

—— (中学生の部) ——

最優秀賞

多治見市立南ヶ丘中3年 小池友美
『保育士になりたい』

優秀賞

美濃加茂市立西中1年 佐藤絢香
『本当の笑顔は「夢」をつかむ』
学校法人美濃加茂学園美濃加茂中1年 竹林雅貴
『将来の夢』

佳作

岐阜市立岩野田中3年 名取祐美
『「ありがとうね。」の言葉から』
岐阜市立長森中2年 中村汐里
『「私達の」夢』
多治見市立南ヶ丘中2年 伊多あゆな
『夢に向かって』
高山市立久々野中3年 池畠朱莉
『わたしの夢』

平成21年度 津田左右吉博士顕彰会・津田記念館の活動

月	内 容	月	内 容
4月	毎月土曜日にさくらの会（代表 中田光子さん）との活動を記念館にて継続して開催。 そのうち、第2・4土曜日に「囲碁体験」講座開催。	11月	「第25回 津田左右吉賞 表彰式・作文発表会／記念講演会」(津田記念館) (11/14) 小学校5・6年生の部、中学生の部、計14名が受賞。 記念講演会「勇気、自分を信じる力」 講師 渡邊晴子氏 (岐阜放送報道局アナウンサー) しもよねフェスタ (津田左右吉集会)が11/28に開催。 下米田小学校で、津田左右吉賞受賞者による作文発表、津田博士に関する講話「津田左右吉博士の夢・わたしたちの夢」などが行われる。顕彰会役員、理事出席。
5月	「いけ花・茶の湯」子ども体験教室の開催 (ゆずりは共催) (5/16～) 以降、ゆずりは (代表 片山慶子さん) による講座の開催 (毎月第1土曜日)、館内へのいけ花飾りつけが継続された。	1月	「百人一首大会」の開催。(百人一首に親しむ会共催) (1/11) 百人一首に親しむ会 (代表 諸橋彩子さん) による大会が催された。
6月	津田左右吉博士顕彰会役員会、理事会を開催 (6/5) よなだっこ広場開催 (下米田小学校・さくらの会) (6/20) 七夕の飾りつけを開催 (さくらの会共催) (6/29～7/13) 下米田保育園の園児によって館内が飾りつけられた。	3月	津田記念館利用団体打合せ会の開催 (3/9) 平成22年度に定期的な利用を計画している3団体と事業内容などについて協議。 伝統文化に親しむ会「子ども茶会」の開催。 (ゆずりは共催) (3/28) 「いけ花・茶の湯」受講生によるお茶会及びいけ花作品の発表会が催された。また、琴や尺八も演奏された。 下米田小学校卒業式において、卒業生に記念品贈呈 津田左右吉博士文鎮、図書「津田左右吉物語」を贈呈 (3/25) 津田左右吉博士顕彰会便りの発行 (3/31)
7月	第25回津田左右吉賞の案内を市内小・中学生、県内小・中学校、関係機関へ発送。 (7/17～9/4)		
8月	美濃加茂市商工観光課による津田記念館見学会の開催 (8/3)		
10月	「第25回 津田左右吉賞」作文コンクール審査委員会開催。受賞者を決定。 (10/1)		